

2008年（平成20年）7月1日

株式会社 大広  
総務人事局 広報部

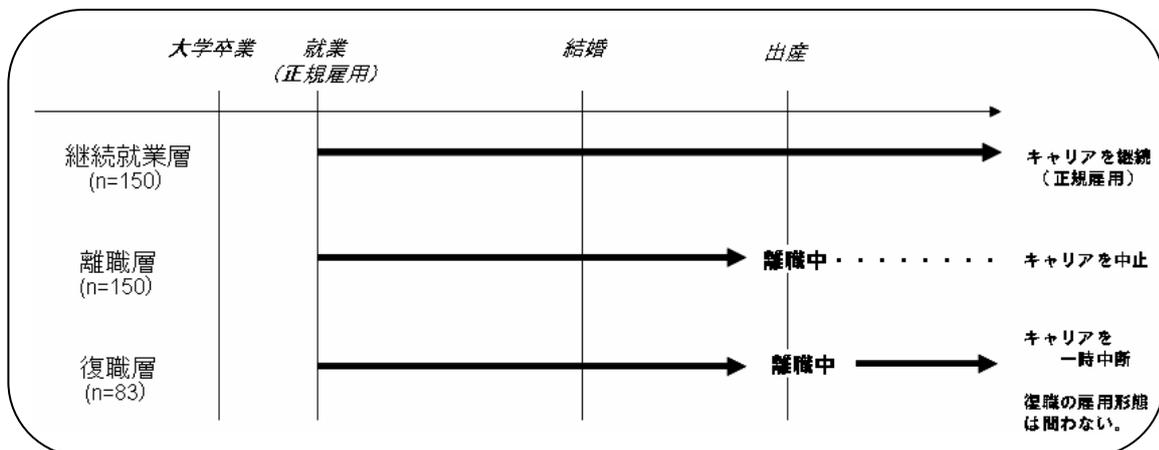
## ライフコース around40 レポート 「vol. 1 ワーキングマザー編」

*around40* マザーは築いたキャリアを活かし続けたいけど時間が足りない。  
キャリア維持のためにも家事支援サービスに期待

株式会社大広（社長：高野功）はこのたびライフコース around40 フォーカスレポート「vol. 1 ワーキングマザー編」を作成いたしました。

当社マーケティング・コミュニケーションラボ（所長：梅本春夫）は2004年より学習院大学経済学部消費者行動研究室（青木幸弘教授）、㈱リサーチ・アンド・ディベロプメント（社長：池谷雄二郎）と産学協同で「女性のライフコース研究」を進めております。今回のaround40レポートは、この一環として、注目度の高い40歳前後の女性（アラフォー）にフォーカスし、実施した当社独自調査の結果をまとめたものです。

「vol. 1 ワーキングマザー編」はこの世代のワーキングマザーにフォーカスしたレポートです。大学を卒業し、その後に就業し、出産は30代後半。つまり、それまでにキャリアを積んだと考えられる女性達に注目しています。昨今では企業の育児支援制度の充実も相まって、出産後も仕事（キャリア）を継続している「継続就業層」が増えていると考えられます。今回の調査では長子年齢が満1～4歳という条件で、仕事を辞めている「離職層」、そして離職後に仕事に復帰した「復職層」との比較によって、around40 継続就業女性の特性を導き出すとともに、注目される彼女達の消費傾向を探っています。



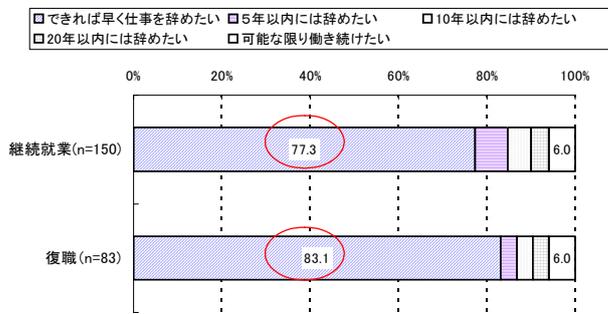
## 〔調査結果のポイント〕

### ■「キャリアを持った女性は働きたい」

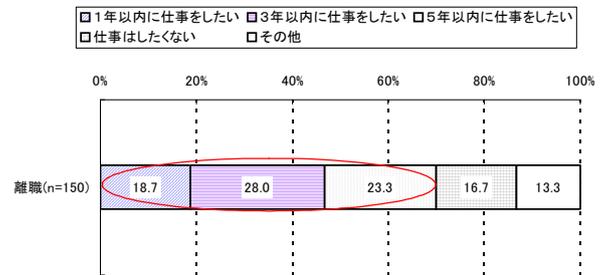
継続就業層では77.3%が「可能な限り働きたい」と回答。「できれば早く仕事を辞めたい」という回答は6.0%しかいない。復職層でも同様の傾向を示しており、キャリアを持って、出産した女性は今後も「働きたい」という意識が強い。

また、現在は職を離れている離職層でも70.0%が5年以内に仕事をしたいと回答した。離職層も専業主婦志向ではなく、働きたいという意識が強い。今後、このキャリアを持った離職層＝「復職予備軍」がどのような形で就業するかが注目される。

○就業者の継続就業意向



○離職者の復職意向



### ■継続就業層は「キャリアを活かしたい」「自己実現したい」

就業理由としては「子供の将来のお金（教育資金）」「金銭的なゆとりが欲しい」などの理由が挙がっているが、継続就業層では「キャリアを活かしたい」（あてはまる+ややあてはまる 65.3%）、「自己実現をしたい」（同 56.0%）などの回答も高い傾向が見られた。また、現在の仕事について、「出産前と比較して責任ある仕事ができなくなった」「自分の能力を活かす仕事をさせてもらえなくなった」など、仕事内容に対する不満意見も継続就業層からは多く見られた。

○就業者の就業理由

	継続就業 (n=150)	復職 (n=83)
子供の将来のお金（教育資金など）	90.0	72.3
金銭的なゆとりが欲しい	89.3	80.7
自分の自由になるお金が欲しい	82.0	68.7
家計の助けにしたい	80.0	75.9
社会とつながっていたい	69.9	74.7
キャリアを活かしたい	65.3	49.4
気分転換やストレス解消	60.0	68.7
自己実現をしたい	56.0	43.4
時間に余裕がある	12.7	25.3

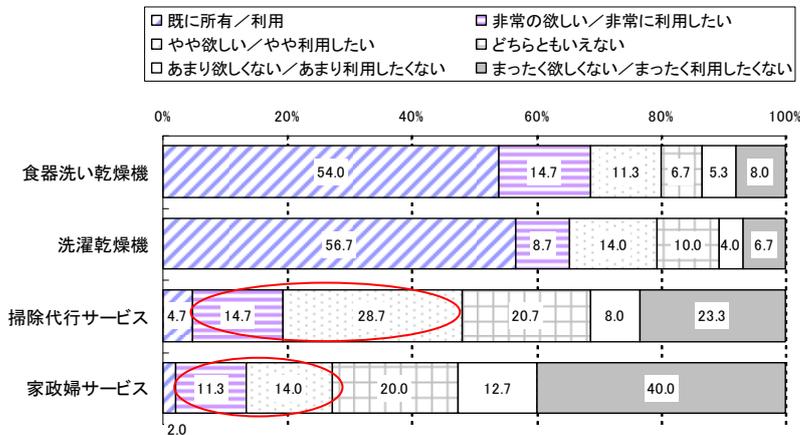
**■忙しい継続就業層は「専門性の高い家事サポートサービス」を希望。**

継続就業層の80.0%が保育施設・保育支援を利用し、月額費用も「50,000円以上」が4割を占めている。キャリアを継続するために多額の費用を掛けて育児サポートサービスを利用していることが確認できた。

また継続就業層は家事の効率化・省力化にも積極的であり、「食器洗い乾燥機」所有は54.0%（離職層 36.0%）、「洗濯乾燥機」所有は42.2%（同 40.0%）となっている。一方で「掃除代行サービス」は利用率4.7%、「家政婦サービス」は利用率2.0%であり、世帯収入の多い継続就業層でも、家事の外部化は進んでいない。しかし利用意向（利用したい＋やや利用したい）では、「掃除代行サービス」が43.4%、「家政婦サービス」も25.3%と高く、今後は外部化が進むと考えられる。

特に「掃除代行サービス」の利用意向の高さから、ワーキングマザーが単純な家事の代行ではなく、専門性の高い家事サポートを求めていることも伺える。ここには家事を「手抜き」するのではなく、「専門家に任せる」という形を取りたいという意識も働いているのではなかろうか。今後、「専門性をキーワードにしたワーキングマザー向けの家事代行サービス」が期待される。

○継続就業層の利用商品・サービス



**【ポイント要約】**

企業の育児支援制度を背景に、出産後も仕事（キャリア）を継続している「継続就業層」が増えているが、彼女達の多くが「可能な限り働きたい」と考えている。なお、働く理由には金銭面だけでなく、自己実現をしたいという欲求も含まれている。

また、彼女達は「母」「妻」「企業人」といった複数の役割をこなすために、常に時間が足りない。この結果、家事のサポートサービスに期待している。今後、掃除代行などの家事の外部化が進むと考えられる。

## 〔本調査の調査概要〕

### ◇対象者条件

- ・ 調査対象：35～39歳の既婚女性
- ・ 子供の年齢は満1歳～満4歳（長子年齢）
- ・ 学歴は大学卒業以上で卒業後、就業経験あり
- ・ 産休・育休を取得中の場合は対象外
- ・ 「継続就業層」＝150s
  - 学卒就業後、1年以上、働いていない期間はない。現在は正規雇用。
- ・ 「離職層」＝150s
  - 学卒就業後、結婚・出産などの理由で職を離れる。現在は職についていない。
- ・ 「復職層」＝83s
  - 学卒就業後、結婚・出産などの理由で1年以上職を離れる。現在は就業。  
(雇用形態は問わない)

### ◇調査手法

- ・ インターネット調査で実施（ネット調査会社の調査パネルを利用）

以上

●この件に関するお問合せは下記までお願いいたします。

株式会社大広 総務人事局広報部 遠藤、長谷川

TEL:03-6364-8601

※6月2日より、移転に伴い電話番号が変更になりました。